

令和5年度 埼玉県高等学校PTA連合会 家庭教育専門委員会研修会 参加報告

実施期日 令和5年11月7日(火)
会場 埼玉会館 小ホール
参加者 成田・長坂

【講演会】

演題 「家庭と共に守る生徒の健康と安全」

講師 埼玉県教育局県立学校部保健体育課

1. 感染症対策 主査 峰岸 宏次 様
新型コロナウイルス感染後の後遺症が少なくない。
家庭においても子どもの健康状態の把握が大切である。
2. 自転車用ヘルメットの着用 指導主事 山田 朗 様
ヘルメットの着用は、命を守る効果的な手段であることを周知させる。
3. 性に関する指導 指導主事 坂上 三四郎 様
学習指導要領に基づいて小学校から系統的に授業が展開されている。
アクティブラーニングを採り入れて実験を行う等の学習活動が展開されていた高等学校の授業の紹介。



【実践発表】

- 東部支部…埼玉県立越谷東高等学校 PTA スローガンの定着を通じた学校との一層の連携強化について
ポスター作成「お父さん お母さん 出番です」
- 西部支部…埼玉県立所沢中央高等学校 人間力を総合的に高めることを目指して「心を育み輝く未来へ」
親子の理解と信頼を培うきっかけとなった学校自己評価アンケートの実施
- 南 支部…埼玉県立大宮商業高等学校 親子アンケートから情報社会での家庭でのルールの共有化を図る
生徒の希望進路を見据えた進路指導とカリキュラム
- 北部支部…埼玉県立秩父高等学校 生徒と保護者がともに学ぶ機会として講演会を開催
特別講演会「命の大切さ」…「死ねて言わない」「ありがとうを言う」「自殺はしない」
生徒の心に響いた3つのメッセージ

【講評】

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 主任指導主事 遠井 学 様
いずれの学校の活動報告にもあるように新型コロナウイルス感染の影響を受けて学校教育活動と共にPTA活動も様々な変化を余儀なくされた。
そのような中、実情を踏まえて特色ある活動を進めた各校の実践報告であった。

東部支部…埼玉県立越谷東高等学校 団結力のある学校 進路実績は向上し部活動も活躍。PTA 役員の思いが込められたスローガンであるが残念なことに7割の家庭に浸透していない。定着させることができれば、PTA活動が向上するだろう。

西部支部…埼玉県立所沢中央高等学校 親子アンケートの結果が有効活用されている。親子の絆の強さを感じた。コロナ禍を経てPTA活動の工夫改善が見られた。

南 支部…埼玉県立大宮商業高等学校 多様な分野、商業分野へのキャリア教育が進められている。保護者アンケートで90%がこの学校に入学させてよかったと回答しているのは、素晴らしい。親子 何を求めているかというアンケート結果を活用している。家庭・学校が一丸となって向上することに期待する。

北部支部…埼玉県立秩父高等学校 オーストラリアの学校と姉妹校 国際社会にマッチした学校である。特別講演会「命」の大切さをテーマとした講演会が実施されたが、家庭では話題にしにくい内容なので、効果的だった。アンケート結果から親が子どもの思いの理解に努めることが重要であることに自分自身も共感した。

新型コロナは、5類感染症に移行したが、終息はしていない。

今後も更なる改善を試みてPTA活動が一層充実していくことを期待する。

【所感】

生徒の健康と安全を守るには、家庭では子どもの日常生活の実態を把握しておくことが大切であり、家庭と学校は、連携を密にし両輪で見守っていくことが大切であること。意外であったことは、自転車通学時のヘルメット着用率が6.9%とかなり低いということ。

事故に遭い頭部に損傷を受けた場合、死に至ることも多い。このような事故を未然に防ぐために動画等を活用し、家庭でもヘルメット着用の定着を図っていくとよいと感じた。

(文責 本部)

